

いよいよ、2学期が始まりました。

夏休みを経て久しぶりに会う子供たちに、私が夏休み中に伝えてあげたいと思った内容を始めの言葉として話しました。

内容は以下のとおりです。

8月25日 2学期始業式でのお話

「野球は私の中に人生で何が大切かを見極める判断力を育み、世界や人生をどう見るかというものを形成してくれました。」

これは、この7月29日に、日本人選手として初めて「アメリカ野球殿堂入り」を果たしたイチローさんが、表彰式典の中で語った言葉です。

アメリカ野球殿堂とは、アメリカの野球界で特に素晴らしい活躍をした人を永遠にたたえる、特別な記念館のことで、ここに入ることはとても難しく、名誉なことです。

彼は、こうも話しています。

「子どもの頃の私の夢は、プロ野球選手になることでした。小学6年生のとき、その夢を作文に書きました。もし今、それを書き直すことができるなら、『夢』ではなく『ゴール』という言葉を使うでしょう。」

『夢』は必ずしも現実的ではありません。

しかし、『ゴール』は深く考え抜けば現実にすることができます。

『夢』を見るのは楽しいですが『ゴール』は難しく、挑戦を伴います。

これをやりたいと口に出すだけでは十分ではありません。

『夢』を『ゴール』にするには、何が必要なのかを真剣に考え抜いてください。」と。

私たちは皆さんに、夢や希望をもって生活してほしいと常々、強く思っています。

でもそれは、イチローさんも言うように、こうなったらいいな、楽しいなという、おぼろげな「夢」ではなく、到達してみようとする「ゴール」を見据えて、歩みを進めてほしいといった意味です。

2学期が始まりました。今年1年もあと半分と少しです。

学年の終わりの3月までに自分はどうしたいのか、3月にはどうなっていたいのか、といったゴールについて具体的に考えて、そこに向かって一歩ずつ着実に、できることを重ねながら過ごしてほしいと思っています。

まずは、ゴールを決めること。

私からの今日の宿題は、「ゴール」をどう据えるかをここにいる皆さんに改めて考えきてほしいということです。そのためには、具体的に何をするかも。

まだまだ暑い日が続きます。

健康に気を付け、幸せに気を付け、2学期も頑張りましょう。